

2 教育普及活動

2-1 講座・ワークショップなど

シンポジウム、対談、講座等

企画展や美術館に関わるシンポジウムや外部講師を招いての対談、講演会

日時	タイトル	講師	関連事業	人数 (定員)
6/10(土) 14:00~15:30	岐阜県美術館のコレクションについて	土屋禮一(作家) 聞き手:青山訓子(学芸課長)	新収蔵品お披露目展	75 (100)
8/12(土) 13:30~15:00	設楽陸×日比野克彦 “アトリエ”トーク・セッション	設楽陸(作家) 日比野克彦(館長)	AiM Vol.14 設楽陸	41 (40)
9/2(土) 14:00~15:00	スライドトーク	鳥羽都子(担当学芸員)	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	71 (170)
9/9(土) 14:00~15:30	わかやまけんと「こぐまちゃんえほん」 の誕生	関谷裕子(こぐま社元編集長)	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	110 (170)
10/14(土) 13:30~15:00	福井県立美術館コレクションの歩み ～福井の小コレクター運動を中心に～	西村直樹 (福井県立美術館 副館長)	越山若水が育んだ美 ー福井県立美術館・若狭歴史博物 館名品展ー	13 (170)
10/21(土) 13:30~15:00	福井県立若狭歴史博物館 コレクションについて	河村健史 (福井県立若狭歴史博物館 文化財調査員)	越山若水が育んだ美 ー福井県立美術館・若狭歴史博物 館名品展ー	12 (170)
11/4(土) 13:30~15:00	美術講座「信仰の美術」	守屋靖裕(担当学芸員)	越山若水が育んだ美 ー福井県立美術館・若狭歴史博物 館名品展ー	15 (170)
11/11(土) 14:00~17:00	第47回AI美芸研 「方法芸術とAI美学芸術」	大久保美紀(岐阜おおがきピエン ナーレ2023ディレクター、IAMAS准 教授) 秋庭史典(名古屋大学大学院情報学 研究科教授) 大泉和文(アーティスト、中京大学工 学部教授) 三輪眞弘(作曲家、IAMAS教授) 中ザワヒデキ(美術家、人工知能美 学芸術研究会、AI愛護団体) 草刈ミカ(美術家、人工知能美学芸 術研究会、AI愛護団体)	IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉 ー規則・解釈・(反)身体	40 (ー)
11/18(土) 13:30~15:00	美術講座「近世・近代の美術 岩佐又兵衛と岡倉天心を中心に」	北泉剛史(担当学芸員)	越山若水が育んだ美ー福井県立美 術館・若狭歴史博物館名品展ー	18 (170)
12/2(土) 13:30~15:00	クロストーク 「深山に息づく祈りの痕跡」	トザキケイコ(作家) 佃正壽(未来共創研究会 主宰) 葛西一太(杣の奏 代表)	AiM Vol.15 トザキケイコ	42 (40)
12/9(土) 14:00~16:00	三輪眞弘作品の 再演コンサート・トークイベント	福井麻衣(ハープ) 東野珠実(箏篋) 三輪眞弘(作曲者) 岡田暁生(コメンテータ)	IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉 ー規則・解釈・(反)身体	60 (ー)
1/27(土) 13:30~15:00	講演会「今、なぜ走泥社なのか」	大長智広(京都国立近代美術館 主任研究員・本展企画者)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	69(170)

日時	タイトル	講師	関連事業	人数 (定員)
2/3(土) 13:30～15:00	美術講座「走泥社とその時代 vol.1」	齋藤智愛(担当学芸員)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	40 (170)
2/10(土) 13:30～15:00	美術講座「走泥社とその時代 vol.2」	正村美里(副館長兼学芸部長)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	38 (170)
3/30(土) 13:00～15:00	クロスアート4 ピロッキング アーティストトーク	公花(作家) 後藤映則(作家) 横山奈美(作家) 山内祥太(作家) 西山恒彦(担当学芸員)	クロスアート4 ピロッキング —新しい居場所と手にしたもの—	82 (170)

作品鑑賞会

展覧会場で担当学芸員や関係者が行う作品解説、ギャラリートーク

日時	タイトル	講師	関連展	人数 (定員)
8/18(金) 19:00～19:30	ナイトギャラリートーク	鳥羽都子(担当学芸員)	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	28
9/15(金) 19:00～19:30	ナイトギャラリートーク	鳥羽都子(担当学芸員)	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	33
10/20(金) 18:45～19:30	ナイトギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員) 北泉剛史(担当学芸員)	越山若水が育んだ美—福井県立美 術館・若狭歴史博物館名品展—	16
11/12(日) 15:00～15:45	ギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員) 北泉剛史(担当学芸員) 青山訓子(学芸課長)	越山若水が育んだ美—福井県立美 術館・若狭歴史博物館名品展—	13
11/17(金) 18:45～19:30	ナイトギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員) 北泉剛史(担当学芸員) 青山訓子(学芸課長)	越山若水が育んだ美—福井県立美 術館・若狭歴史博物館名品展—	6
11/26(日) 15:00～15:45	ギャラリートーク	守屋靖裕(担当学芸員) 北泉剛史(担当学芸員) 青山訓子(学芸課長)	越山若水が育んだ美—福井県立美 術館・若狭歴史博物館名品展—	18
12/23(土) 14:00～14:45	ギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	16
1/7(日) 14:00～14:45	ギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	19
1/19(金) 19:00～19:30	ナイトギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	17
2/16(金) 19:00～19:30	ナイトギャラリートーク	齋藤智愛(担当学芸員)	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	9
3/29(金) 15:00～17:00	ギャラリートーク	公花(作家) 横山奈美(作家) 山内祥太(作家) 西山恒彦(担当学芸員)	クロスアート4 ピロッキング —新しい居場所と手にしたもの—	56



▲8月12日 設楽陸×日比野克彦“アトリエ”トーク・セッション



▲3月29日 ギャラリートーク(山内祥太)

体験型企画など

日時	タイトル	講師	会場	内容	人数 (定員)
7/29(土)・7/30(日) 11:00～11:30 14:00～14:30	こぐまちゃんと いっしょに撮影会	岐阜県美術館	スタジオ	こぐまちゃんと一緒に写真を撮る記念撮影会を行った。	591 (各回 50組)
8/20(日) 11:00～12:00 14:00～15:00	VRお絵描き教室	設楽陸(作家)	アトリエ	作家と一緒に、VR(仮想現実)で絵を描く体験活動を行った。	7 (6)
10/29(日) 13:30～15:30	ワークショップ「森と祈り」	トザキケイコ(作家) 佃正壽 (未来共創研究会 主宰)	アトリエ	清見で森と共に暮らすトザキケイコと佃正壽が森の神秘について語った後、美術館庭園の木を使って、参加者と祈りの場をつくった。	9 (10)
11/5(日) 10:30～12:30 14:30～16:30	ワークショップ 「祈りのかたち」	トザキケイコ(作家)	アトリエ	トザキケイコから森と共に生きることについて話を聞いた後、美術館庭園で拾った枝を磨いたり、糸やピンで装飾したりする体験活動を行った。	14 (12)
11/30(木) 14:00～15:30	林武史《石間》体験会	鳥羽都子(担当学芸員) 正村美里 (副館長兼学芸部長)	展示室1	林武史《石間》の上を歩いたり座ったりするなど直に触れながら作品を味わう鑑賞会を行った。	15 (一)
12/3(日) 14:00～15:30	林武史《石間》体験会	鳥羽都子(担当学芸員)	展示室1	林武史《石間》の上を歩いたり座ったりするなど直に触れながら作品を味わう鑑賞会を行った。	37 (一)
12/16(土) 10:30～12:00 13:00～15:00	GIFUワークショップ ギャザリングVol.9	東海学院大学短期大学部 中部学院大学	美術館ホール 多目的ホール スタジオ アトリエ	「なりきり顔バッグ」「手形アート」「クリスマスカード」「どうぞで自由に～自分の好きをいっばいかいてみよう～」「キラキラスノードーム」「ペタペタトナカイ」の体験活動を行った。	330 (一)

日時	タイトル	講師	会場	内容	人数 (定員)
12/17(日) 10:30~12:00 13:00~15:00	GIFUワークショップ ギャザリング Vol.9	岐阜大学 岐阜聖徳学園大学 岐阜聖徳学園大学短期大学部 名古屋芸術大学 名古屋柳城女子大学	美術館ホール 多目的ホール スタジオ アトリエ	「ようこそ 僕らの街へ!」「なりきり★アート」「メイク・ユア・フィッシュ」「かぶって、へんしん!」「いろんな音を楽しもう」「自分でつくる『木のおはし』」「クリスマスをアートで『つくる・あそぶ・かざる』」の体験活動を行った。	216 (一)
12/24(日) 15:00~17:00	IAMAS ARTIST FILE #09<方法主義芸術> 一規則・解釈・(反) 身体 方法作品の再演	IAMASタイムベースド メディア・プロジェクト 中ザワヒデキ(美術家、人工知能 美学芸術研究会、AI愛護団体) 足立智美(パフォーマー、作曲家) 三輪真弘(作曲家、IAMAS教授)	多目的ホール	「方法主義芸術」として生み出された曲を演奏するコンサートを開催した。	62 (一)



▲12月16日 GIFUワークショップギャザリングVol.9



▲12月17日 GIFUワークショップギャザリングVol.9

ナンヤローネ・プロジェクト

2016年度より開始した展覧会や作品、ワークショップ、鑑賞プログラム、ミュージアムショップなど、館のすべてのものを通して、人と人、アートと人が触れ合える場を創造するプロジェクト。2019年度末から感染症拡大予防措置に努めつつ教育普及事業を見直し「ナンヤローネアートツアー」「ナンヤローネアートアクション」をすすめてきた。加えて2021年度は「ナンヤローネプロジェクト@オンライン」としてオンライン会議ツールやSNSを活用したイベントを実施してきた。2022年度からは《Such Such Such》の常設展示を再開し、本プロジェクトの充実を図ってきた。

ナンヤローネアートアクション

展覧会や作品の技法、色、作家のコンセプト、庭園や展示室そのものなどをテーマに、気軽にアートを楽しむことをねらったワークショップ。すべての人を対象に実施し、いつでも参加できる。

日時	タイトル	会場	概要	関連展	人数 (定員)
5/7(日) 10:30~12:00 13:30~15:00	「墨って『カッコいい!』」	アトリエ 展示室	所蔵品展で墨がつくり出す美について味わった後、墨の濃淡、にじみ、筆遣いなどを楽しみながら和紙に表現する活動を行った。	ぎふの日本画 水墨の彩り	29 (各15)
7/15(土) 10:00~12:00 13:30~15:30	心のつながりを結うー組紐ー	多目的ホール	所鳳弘氏を講師に招き、組紐の製作を行うとともに、日本の伝統文化と国際交流についての見識を深めた。	—	104 (各50)
8/19(土) 10:30~12:00 13:30~15:00	岐阜県美術館ナンヤローネ WS「ここから物語を始めよう!絵本を作る」	アクティブG ふれあい広場	画用紙を針と糸で綴じて製本し、表紙は布や色画用紙でコラージュして、ミニ絵本を作る体験活動を行った。	こぐまちゃんとし ろくまちゃん 絵 本作家・わかやま けんの世界	28 (30)
9/2(土) 10:30~12:00 13:30~15:00	わたしの奇妙な気球!?づくり	岐阜かかみがはら 航空宇宙博物館	ルドン作品をモチーフに気球の部分を画用紙や紙袋を使って制作し、ヘリウムを使って気球を浮かべる体験活動を行った。	ルドンコレクションから:ルドンとフ ランス世紀末絵画	52 (60)
10/8(日) 9:30~12:00	ナンヤローネ@飛騨市美術館	古川郷土民芸会館	岐阜県美術館の紹介を通して展示や所蔵作品について知ってもらう話をを行った後、糸や毛糸を使ったコットンボールを制作する体験活動を行った。	季節のうつろい 夏から秋へ	17 (12組)
11/3(金・祝) 10:20~10:50 11:20~11:50 13:30~14:00 14:30~15:00	秋冬を和紙で飾ろう!	多目的ホール	美濃和紙を支持体とした林武史《紅の庭》に関連し、和紙を折りたたんで切り込みを入れてつくる落ち葉や雪の結晶で生活を彩る体験活動を行った。	林武史《石間》 安藤基金コレク ションから	81 (各20)
2/4(日) 13:30~15:30	かたちをかさねて きもちをかさねて	多目的ホール 展示室	ワークシートを用いた鑑賞を行い、作品をみた時に感じた自分の気持ちを粘土で表現する活動を行った。	走泥社再考 前衛陶芸が生ま れた時代	18 (20)



▲5月7日 アートアクション「墨って『カッコいい!』」



▲2月4日 アートアクション「かたちをかさねて きもちをかさねて」

ナンヤローネ アートツアー

美術の知識に頼らない鑑賞プログラム。作品を見て何かを感じている自分を物（コネクター）に置き換え表現する日比野克彦のアートコミュニケーション作品《Such Such Such》の手法を取り入れて行う。

日時	会場	対象展示	対象作品	人数 (定員)
4/23(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	新収蔵品お披露目展	・塔本シスコ《桜島》 ・松井章《望郷》 ・鯉江良二《雨》 ・横山奈美《forever》	11 (12)
5/21(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	水彩画『みづ糸』とよばれた時代から ルンドンコレクションから	・山本芳翠《田舎家》 ・矢野倫真《風景》 ・坂井範一《色と形》 ・オディロン・ルドン《年老いた騎士》《女の像》 《ハムレットについての思い》	12 (12)
6/18(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	清水九兵衛《CORRESPOND A》 ぎふの日本画 水墨の彩り	・清水九兵衛《CORRESPOND A》 ・前田青邨《水墨襖絵》 ・平川敏夫《鳴門潮聲》	8 (12)
8/6(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	・若山憲《おともだちが、たすけにきてくれました。 おいけがまっくろに》 《こぐま社創立10周年記念贈答用リトグラフ》 《「わあまぶしい」ほたるたちがそろってあかりを…》 《からすのかんざぶろうp13》 《保育の友》	21 (21)
9/3(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	さかのぼり岐阜洋画史 平成・昭和編	・河合祐司《メモランダム'95無題》 ・石川勇《無題》 ・奥村晃史《ストレージ・シープ》 ・奥村晃史《地上の食卓》 ・坂倉新平《内なる光》 ・傍島幹司《赤と白の時間》	15 (20)
10/22(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	越山若水が育んだ美 一福井県立美術館・ 若狭歴史博物館名品展一	・《阿弥陀如来坐像》 ・《迦楼羅立像》 ・岩佐又兵衛勝以 《和漢故事説話図 近藤師経と寺僧の乱闘》 ・安田鞞彦《天之八衢》 ・三上誠《F市曼荼羅》 ・元永定正《作品(仮題)》	7 (16)
11/19(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	IAMAS ARTIST FILE#09 〈方法主義芸術〉一規則・解釈・(反)身 体	・中ザワヒデキ 《三十五目三十五路の盤上布石絵画第1番》 《三十五目三十五路の盤上布石絵画第2番》 《三十五目三十五路の盤上布石絵画第3番》 ・松井茂《純粹詩》《量子詩》 ・三輪真弘《あたりさま》《村松ギヤ》	5 (16)
12/3(日) 14:00～15:30	多目的ホール、 展示室	さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編 林 武史《石間》安藤基金コレクションから ルンドンコレクションから：黒との会話 フォルムーやきものから	・北蓮蔵《午の憩》 ・林武史《石間》 ・オディロン・ルドン《「夢のなかで」VIII. 幻視》 ・鯉江良二《土に還る》 ・天野裕夫《重厚円大蛙》	9 (16)

日時	会場	対象展示	対象作品	人数 (定員)
1/21(日) 14:00~15:30	多目的ホール、 展示室	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	・八木一夫《歩行》 ・山田光《1の周辺》 ・三輪龍作《LOVE》	8 (16)
2/25(日) 14:00~15:30	多目的ホール、 展示室	フランスに渡った日本人画家	・北蓮蔵《コンセルジュ》 ・荻須高德《モンマルトルの食料品店》 ・赤塚一三《山懐の蝶》	14 (16)



▲8月6日 アートツアー
「こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界」



▲10月22日 アートツアー
「越山若水が育んだ美—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—」

ナンヤローネ プロジェクト@オンライン

コロナ禍で生まれた新たなプロジェクト。オンラインツールや「おうちに居ながら美術館」を活用したイベントや講座を実施している。

《Such Such Such (あんな そんな こんな)》

「作品を見て何かを感じている自分」をもの（コネクター）に置き換えて表現する、日比野克彦による体験型のアートコミュニケーション作品。

日時	会場	対象作品	関連展	人数
10/13(金) ~ 12/3(日)	美術館ホール	堀内正和《三つ半の立方体》 石川勇《無題》 郭仁植《作品86-ST》	—	214
1/13(土) ~ 3/17(日)	展示室2	つなぐ人 日比野克彦 調査 修復・燻蒸・装丁	アートまるケット 展覧会の準備をしています。展。	729

2-2 アートコミュニケーションプロジェクト

岐阜県美術館がめざす基本理念「美とふれあい、美と話し、美を楽しむ」の実現にむけて、共に活動するのがアートコミュニケーター（愛称：～ながラー）である。アートから生まれるコミュニケーションを大切に、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に人と人、人と作品、人と文化をつなぐ活動に取り組む。

4期をむかえ、今年度は、期を越えての活動が活発化した。また、3年の任期を満了する2期を「湊カラー」として送り出す「湊カラー出港式」を開催した。

～ながラーの構成

2期14名、3期17名が活動を継続。4期には37名の応募があり、書類審査、面接を経た25名を加え、2～4期で計56名となった。主な居住地区は県内（岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域、東濃圏域）で、他県（愛知県、三重県、東京都、群馬県、福島県）在住者も活動している。年齢分布は10代2名、20代12名、30代6名、40代10名、50代16名、60代10名。

主な年間スケジュール

通年	: 舟の活動（「～ながラー」自主企画）
4～7月	: 基礎ゼミ（全7回）
4～10月	: ながららぼ「明後日朝顔プロジェクト」（全14回）
8～2月	: 実践ゼミ1（全7回）、実践ゼミ2（全6回）
11/1（水）～12/22（金）	: 5期応募受付（消印有効）、1/10（水）まで延長
11/3（金・祝）	: アートコミュニケーター5期募集イベント「～ながラー鳥瞰図 Vol.3」 「～ながラー」と美術館スタッフによる活動報告、日比野克彦（館長）・伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター特任教授）・水野友有（中部学院大学人間福祉学部准教授）・中嶋健太（教育普及係）・湊カラー2名によるクロストーク、茶話会
11/23（木・祝）	: アートコミュニケーター5期募集イベント「福井県美術館ボランティアと楽しむアートツアー」 「越山若水が育んだ美ー福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展ー」にて、福井県美術館ボランティアと「～ながラー」が協同し、来館者を招いて実施したアートツアー
3/3（日）	: 「湊カラー出港式」2期（13名）任期満了に伴う修了式及びアートコミュニケーター「湊カラー」任命

活動参加人数（対面・オンラインを含む）

・美術館主催（基礎ゼミ・実践ゼミ・展覧会勉強会）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	5	7	7	11	4	3	4	4	2	6	4	4	61
人数	79	66	86	118	46	43	42	50	28	58	55	39	710

・「～ながラー」による自主活動（この舟のろう方式）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	5	4	5	11	12	17	18	12	13	2	3	4	106
人数	23	16	22	64	70	75	91	66	76	12	18	23	556

活動参加人数合計のべ1,266人

基礎ゼミ

活動を始める準備としてアートの役割やコミュニケーションについての理解を深めた。

回	開催日	タイトル	講師	人数
1	4/15(土)	「～ながラー」のみなさん、ようこそ岐阜県美術館へ、岐阜県美術館を知る	青山訓子(学芸課長)	37
2	5/13(土)	美術館×作品×来館者×アートコミュニケーター	稲庭彩和子(国立アートリサーチセンター主任研究員)	27
3	6/10(土)	ミュージアムの特性を活かした活動	伊藤達矢(東京藝術大学社会連携センター特任教授)	24
4	6/17(土)	きく力	西村佳哲(有限会社リビングワールド代表)	17
5	7/1(土)	会議が変われば社会が変わる	青木将幸(青木将幸ファシリテーター事務所代表)	19
6	7/8(土)	合理的配慮と不当な差別取り扱い	川島聡(放送大学 教授)	26
7	7/15(土)	アートプロジェクトって、ナンヤローネ	日比野克彦(館長)	31

「この舟のろう方式」から生まれた活動

「この舟のろう方式」とは、「～ながラー」たちが自発的に開催する、新しいプロジェクトの検討と発信を行う活動である。共通のテーマやアイデアを持ち寄り、3人以上のメンバーが集まったら、企画の実現に向けて話し合いを進めていく。予め「終わり方」のデザインをしておき、結成と解散を繰り返しながら、様々な自主活動に取り組んでいく。

タイトル	内容	関連展	開催日	人数	
				～ながラー	参加者
こぐまのこぐ丸 「絵本のおみきかせと館内ミニツアー」	キッズルームでの絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びなどをし、庭園の散歩、館内ツアーなどを行った。	・清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023 ・こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界 ・AiM Vol.15 トザキケイコ	4/16(日)、5/18(木)、6/11(日)、7/27(木)、7/28(金)、8/10(木)、9/10(日)、11/2(木)、12/10(日)	9	154
lshi丸 「《石間》と《立つ人一月見台》五感を使って鑑賞しよう」	林武史作品《石間》と《立つ人一月見台》を来館者と共に五感を使って鑑賞した。	林武史《石間》安藤基金コレクションから	11/12(日)	6	8
Let'sおしゃべり鑑賞丸 「所蔵品展で対話型鑑賞」	「～ながラー」がファシリテーターとなり、所蔵品を対象に対話型鑑賞活動を行った。	・さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編 ・林武史《石間》安藤コレクションから ・ルドンコレクションから:黒との会話 ・フォルムーやきものから	11/25(土)、12/20(水)、12/23(土)	13	24
「流し」のおしゃべり鑑賞フレンド丸 「流し」のおしゃべり鑑賞フレンド」	来館者が作品を観て感じたことを友達のように寄り添って聴く活動を行った。	・さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編 ・林武史《石間》安藤コレクションから ・ルドンコレクションから:黒との会話 ・フォルムーやきものから	12/10(日)、12/24(日)	4	24
明後日新聞丸 「明後日朝顔新聞」	明後日朝顔や「～ながラー」の活動、他地域のアートプロジェクトの情報発信を新聞形式で発表した。	—	10/20(金)、12/10(日)、3/20(水・祝)	8	—



▲9月10日 絵本の読み聞かせと館内ミニツアー



▲11月12日《石間》と《立つ人一月見台》五感を使って鑑賞しよう

ながららぼ

日比野克彦によるアートプロジェクト「明後日朝顔プロジェクト」に参加し、朝顔の育成やイベントを行った。

開催日	活動内容	～ながらー	参加者
4/22(土)、5/20(土)、5/21(日)、5/24(水)、 5/27(土)、5/28(日)、7/2(日)、7/22(土)、 8/20(日)、9/16(土)、10/14(土)	朝顔の育成、イベントの準備など	52	—
4/30(日)	日比野克彦館長による明後日朝顔についての話、 キングオブタネの選出	25	—
6/3(土)	明後日朝顔全国会議へようこそ！館内ツアー	12	17
10/28(土)	明後日朝顔「ながら」収穫祭	7	13

実践ゼミ

基礎ゼミを終えた「～ながらー」の学びをより深める実践ゼミを実施した。

・作品鑑賞・アクセスと「～ながらー」

対話型鑑賞およびVTSの鑑賞手法やファシリテーターの技術を学んだ。また、深いコミュニケーションの方法を探り、鑑賞を軸に多様な来館者に寄り添うために自分たちができていることを考え、実践した。

開催日	内容	講師	人数
8/27(日)	なぜ、芸術鑑賞に対話が必要なのか	会田大也(山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課長)	19
9/23(土・祝)	作品の対話型鑑賞ファシリテーター入門 (基礎の基礎編)	濱野かほる(教育普及係)	25
10/21(土)	VTS実習について・私たちの目指すダイ バーシティとは	川上ちひろ(岐阜大学医学教育開発研究センター) 岡田宏子(NPO法人アスペ・エルデの会) 利根川尚也(国立成育医療研究センター教育研修室長)	17
11/18(土)、12/9(土)、 1/27(土)	アクセス、VTS実習	濱野かほる 近藤優紀(教育普及係)	49
2/12(月・祝)	アスペ・エルデの皆さんと楽しむ鑑賞会 とふりかえり	濱野かほる 近藤優紀(教育普及係)	22

・「地域資源と～ながらー」

岐阜市を中心に展開されるアートプロジェクト「こよみのよぶね」を通して、岐阜県美術館のアートコミュニケーター「～ながらー」が「地域資源」について実践を交えながら想いを巡らせた。

開催日	内容	講師	人数
8/5(土)	オリエンテーション・舟(チーム)づくり	中嶋健太(教育普及係)	15
9/9(土)、10/7(土)、 11/11(土)、12/2(土)	進捗報告会	中嶋健太(教育普及係)	48
1/14(日)	ふりかえり	中嶋健太(教育普及係)	13